

令和6年度 SDGsを踏まえた外国語を使った国際交流プログラム開発事業
(SDGsキャンプ inにほんのふるさと)

- [主 催] 国立曾爾青少年自然の家
- [協 力] 亀の寺子屋、(一般社団法人) そにのわGLOCAL (タイプログラム、自然農法体験)、みつえ高原牧場
- [期 日] 令和6年11月9日(土)～11月10日(日)
- [対 象 者] 概ね3年生以上～大人
- [参加/募集] 17名/20名程度
- [担 当] 三木智拡(主任企画指導専門職)・坂本純一・森岡亮平(企画指導専門職)・小西岳勝(企画指導専門職付主任)



1 趣 旨

SDGsについて、外国と日本の現状から体験しながら学びを深めるプログラム。外国については、曾爾村在住のタイ人の講師から講義・ワークショップを通じ言語・文化・伝統・SDGs課題について学ぶ。一方、日本については、奥大和と呼ばれる奈良県曾爾・御杖両村(=日本)での自然・地域・人など豊かな地域資源及び課題について学び体験する。それらの対比を通じて持続可能な社会について思索を深める機会となるキャンプを目指している。

2 ねらい

- ① タイの文化・伝統・言語、SDGs課題について学びを深める。
- ② 日本の地域資源に出会い、体験して、豊かさを感じる。
- ③ タイと日本の地方との対比を通して、持続可能な社会について考えを深める。

3 プログラム展開

11/9 (土)	11:00 入所・オリエン テーション	12:00 昼食	13:00 Thaiプログラム	17:00 夕食	18:00 入浴	20:00 フリータ イム	21:30 就寝
11/10 (日)	6:30 起床	7:30 朝食	9:00 ふるさとプログラム ・みつえ高原牧場・豊田農園・地域総合センター	10:15 11:45	12:45 昼食	13:30 まとめ	14:00 解散

4 活動の様子



5 まとめ(参加者アンケート・担当者の所感)

- ・農作業をして、これほど人間が世界を汚しているのかと思いました。そしてすごくススキがきれいで、鹿を見れてうれしかった。
- ・牛の事も、農業の炭素循環農法も初めて知れてよかった。
- ・子どもたちが目の前の活動に素直に反応している姿をみる事ができて良かったです。
- ・曾爾村や御杖村の色々なところを知ることができた。
- ・知らないことばかりで、外国だけでなく、身近なSDGs課題について考える良い機会になった。